

図書館通信



豊かな時間を図書館で

令和2年
(2020年)

1



月号

第466号 (第38巻第10号)

【目次】

P 1	システム切り替えのお知らせ	P 6	職員コラム
P 2	行事と展示のお知らせ	P 7	職員のおすすめ本
P 3	事業報告	P 8	新着図書案内
P 4	アーニス分館だより	P 12	カレンダーとお知らせ、 図書館施設のご案内
P 5	市民のひろば		

編集・発行 登別市立図書館

URL <http://www.noboribetsu.ed.jp/~iinkai/library/>

〒059-0012 登別市中央町5丁目21-1

E-mail toshokan@city.noboribetsu.lg.jp

電話 (0143) 85-4324 FAX (0143) 85-4325

図書館システム切り替えのお知らせ

2020年1月6日（月）までの休館中に図書館システムの切り替えが行われました。西いぶり広域図書館のシステム切り替えとなりますので、登別市だけではなく室蘭市・伊達市も同様のシステムに切り替わっています。

システム切り替えによりOPAC（オンライン蔵書目録検索システム）はWEB版では検索結果時に本の書影が表示されるなど、より使いやすいよう変更されています。

また館内OPACではタッチパネル・キーボード操作どちらもご利用いただけるようになりました。

*詳しくは図書館通信2020年2月号でお伝えいたします。

システムに慣れるまで対応などお時間いただく場合もございますが、ご了承いただけますようお願いいたします。

ご不明な点などは職員までお尋ね下さい。

ご不便をおかけすることもございますが、ご理解ご協力をお願いいたします。

本年も登別市立図書館をどうぞよろしくお願いたします。



映画会

年始休館のため、今月の映画会は休止します。

イベント・講座

今月はイベント・講座の予定はありません。
館内でゆっくりと読書をお楽しみください。

おはなし会

※会場：図書館1階えほんのへや
入場無料、申込は不要です。

①えほんのへやのおはなしかい（絵本や紙芝居の読み聞かせ）

日時 1月11日（土） 14時より ※毎月第2土曜日

②おはなしぽけっと（絵本や紙芝居の読み聞かせ、エプロンシアターなど）

日時 1月25日（土） 13時30分より ※毎月第4土曜日



ロビー展示

※会場は図書館1階ロビーです。
入場無料でどなたでもご覧いただけます！

★まもなく開催！ ➡ 「大型絵本・大型紙芝居展」

登別市立図書館で所蔵している大型絵本・大型紙芝居に
本年度新たに購入したものを加えて展示します。

幼稚園や小学校、読み聞かせボランティアなど団体登録
されている方に貸し出しもしています。

大型ならではの迫力を、ぜひご覧ください。



開催期間

1月7日（火）～

1月30日（木）



事業報告

★クリスマス工作★

「ツリー型アドベントカレンダーをつくろう！」を開催しました



12月14日(土)にクリスマス工作を開催し、参加者7名がダンボールで作ったツリーに飾りをつけたアドベントカレンダーを作りました。

12月20日から25日までの日付けをドアや窓をモチーフにした色画用紙に貼りつけていき、クリスマスまでの一日一日を楽しめるよう、さまざまな工夫をこらしながらシールやマスキングテープなどを使ってツリーに飾り付けました。

図書館で事前に用意していたリボンは、赤・青・黄色などさまざまな色があったため、目移りしながらも自分の好きな色やツリーの緑に映える色を選んでいました。シールはキラキラ光るタイプのものが人気でした。出来上がった作品は、てっぺんに付けた星までいれると45cmを超える大作で、雨にぬれないようビニール袋に入れて持ち帰ってもらいました。

今回も、夏休みに続いてサポーターさんにお手伝いいただき、スムーズに進行することができました。

ご協力いただきありがとうございます。



<完成品>



<作業中のみなさん>



おはなしぽけっと主催

「クリスマスこうさく・ツリーかざりをつくろう」を開催しました

12月15日(日) 10:30より児童室にて読み聞かせボランティア【おはなしぽけっと】主催のクリスマス工作が行われました。

卓上型のツリーを作り、それぞれ飾り付けをしてもらい、どの参加者も楽しそうに取り組んでいました。当日は雪がちらついていましたが、急遽工作用にテーブルを増やすなど多くの方に参加頂きました。



<作業中のみなさん>

また、13:30からはおはなし会も行われました。クリスマス前のおはなし会ということもあり、ブラックライトを当てると光る特殊なパネルシアターでクリスマスのお話しをして頂きました。

光を当てるため暗幕で暗くした会場で、いつもとは違うおはなし会にみなさん引き込まれていました。



アーニス分館だより

アーニス分館では

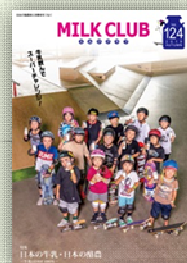
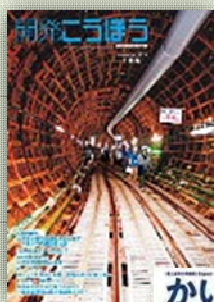
- ◆ 「今月のおすすめ」の展示を行っています。
- ◆ 国立国会図書館「デジタルコレクション」
「歴史的音源」を利用できます。
- ◆ オンライン・データベースを利用できます。
- ◆ DVDを視聴できます。
- ◆ 見やすい大活字本もあります。
- ◆ 雑誌の最新号の一夜貸しを行っています。
- ◆ 新聞コーナーでは読売新聞と室蘭民報を
ご覧いただけます。



刊行物コーナー

逐次刊行物

官公庁・各種団体・企業などが定期的に制作・発行している小冊子です。それぞれの取組みや、文化、社会活動を伝えています。
<貸出もしています>



《新刊おすすめ本紹介》

1日1曲 365日のクラシック / 近藤憲一 / ヤマハミュージックメディア エンタテインメントホールディングス



作曲家や演奏家の誕生日や命日、名曲が初演された日、音楽に関係した出来事があった日…。日めくりカレンダーのように毎日、縁ある音楽と出会える一冊です。バッハやヘンデルの時代からラフマニノフ、ショスタコーヴィチまで、およそ300年をカバー。

文庫本サイズでコンパクトに楽しめます。

1月1日はニューイヤーコンサートからヨハン・シュトラウスⅡ世 作曲の「ワルツ 美しき青きドナウ」です！

室蘭工業大学における図書館の活用

室蘭工業大学 PA ネットワーク 西河勇佑

私の大学には（どこの大学にもあると思うが）巨大な、とまではいかないがそこその規模の図書館がある。二階建ての、なにかの事務所のような外装で、内装もオフィスのような仕上がりとなっている。本も、工業大学ということもあって機械・建築・物理・化学などの理系の分野が非常に多く、逆に小説などはその数に比べると少ない。まさに会社のオフィスのようなかしまった図書館といえるだろう。

しかし、室蘭工業大学の利用者でこの図書館にそんなイメージを持つ人は一人もいないだろう。というのも、誰もその図書館で、ある意味殺伐とした厳格さで利用したりなどしていないし（宿題に殺伐としている人はいるかもしれないが）、勉強や読書以外のことをするとつまみ出されることもない。行ってみると皆、自分の居場所のように快適にしているのが見えるだろう。かくいう私もそういった人間の一人なのだが、自信を持って言う、私の大学の図書館は、見た目こそかしまった堅苦しい感じはするが、そこに敷居はないし、くつろぐにはもってこいの場所なのである。

では、これから私がよくやる図書館の活用について話していく。私はこの図書館に二つの選択肢を用意していて、それは、勉強か、リラックスかである。今回はそのリラックスについて深く掘り下げていく。

早速行ってみよう。

まず一つ目は視聴覚コーナーである。この図書館には小さめではあるが、視聴覚コーナーがある。大学が用意している映画をヘッドフォンを装着して試聴することができ、有名な映画も多数ある。この視聴覚コーナーの何が良いかというと、この視聴覚コーナー、知られていながらも利用者は非常に少ないのである。つまり、一度利用してしまうとほぼ独占状態となる。気兼ねなくくつろぐことができるし、キャスター付きの椅子で移動だってできる（本当はだめだが）。私はこの視聴覚コーナーを何度も利用している。月日が経つと新しい映画も増えるため、私たちを飽きさせない。利用してみてもどうだろうか。

二つ目は、（これが最後の紹介）この図書館の二階である。

この図書館の二階はクワイエットエリアとされており、一切の私語が厳禁、常に静かな場所である。皆はよく勉強に使っているが、私はそのような目的で使っていない。私は二階に上がってすぐのチェアで本を読むのに使っている。チェアが置いてあるこのブースには本が保管されていないため、日差しが入るように大きな窓がある。午後三時から五時ほどに来れば、ちょうど西日が差し込みポカポカと気持ちが良い。ここに来るとその気持ちよさについ眠りをしてしまっている人が見られるだろう。

この文章を読んでくれたならぜひ行ってみることをお勧めする。
その際は、受付にて、身分を証明するものを忘れずにお願いしたい。



【室蘭工業大学附属図書館の利用を希望される方は、下記ホームページをご覧ください。】
HP アドレス <http://www.lib.muroran-it.ac.jp>

「生きる糧」



みなさんは発売を楽しみにしている本はありますか？

私が楽しみに待っていた本『十二国記』シリーズの新刊が、去る2019年10月12日発売になりました！

『十二国記』は小野不由美作の異世界にある十二の国を舞台とした中華風ファンタジー小説のシリーズ名です。今回発売されたのはシリーズの9巻目にあたり、長篇シリーズの続刊でいえばなんと18年ぶりの刊行となり発売前からSNSや新聞広告でも多く取り上げられ話題になっていました。

すごくすごーく待ちました。待つ待つ待ちました。正直なところ今回の発売の情報がSNSに流れた際も最初はとても信じられずに嘘だと思いました。

私が『十二国記』に初めて出会ったのは高校の図書室です。面白いよと勧められ何気なく読み始めたところ「なんだこの本は！」と衝撃を受け、その時点で出版されていた7巻までを1-2週間で読みつくしました。7巻目まではおおむね2-3年毎に新刊が発売されており、高校生の私はその後毎月本屋に行っては新刊販売情報を確認していました。そのころは発売をこんなに待つことになるとは思いませんでした。

インターネットに定期的に出現する「新刊来年に発売か!？」などという情報に踊らされ、雑誌に短篇が掲載されると聞けば雑誌を買い、短編集が発売されると聞けば発売日に本屋に行き、もしかしたら短篇集が出た勢いで長篇の続編も出るのではと期待し…。そのうちに期待は淡く変化していき、近年は小野不由美の新刊が出るたびにどうか小野不由美さんが健康で長生きしてくれますように（そしていつの日か気が向いた時でいいから続編を書いてくれないかな）と思うようになっていました。

私は日々生活している中でなんだか無性にやるせなくなり、もう人生これでいいかなーと思うことがたまにあるのですが、そんな時に「いやいや、『十二国記』の新刊読む前に終わったらダメだろう」と思い頑張る気力を十二国記からもらっていました。そして読み終わるまでは死ねないと思っていた本がとうとう発売になり手に入り、この後の人生何を糧に頑張ればいいのか…と思いますが実は続編を待っている本が他にもまだまだ控えていたりします。待つ苦しみも同じだけ控えています。楽しみな事がたくさんあるのはいいことです…よね。さらに『十二国記』は2020年に短編集の発売がもう決定していますので、しばらくはそれを楽しみに生きたいと思います！

* 『十二国記』シリーズは伊達市立図書館に全館揃っています。

読んでみたいと思った方はぜひ取り寄せ予約をお勧めします！

* 先日も書店で『十二国記』のパネル展があると聞き東京まで行ってきました。とっても小さい展示でしたが嬉しかったです。



わたしのおすすめ本

児童室担当 中内 由里

「桃太郎は盗人なのか？」 —「桃太郎」から考える鬼の正体—

倉持 よつば／著 新日本出版社／発行



この作品は、2018年度「図書館を使った調べる学習コンクール」で「文部科学大臣賞」を受賞した千葉の小学5年生の作品を書籍化したものです。

よつばさんは、前年度も母妹と一緒に調べて受賞していますが、その時に副賞でもらった「空からのぞいた桃太郎」（影山徹／著 岩崎書店／発行）についていたリーフレットの解説を読んで受けた衝撃が、今回の「調べてみよう！」と思ったきっかけとなったそうです。

曰く、「えらくて有名な福沢諭吉が(桃太郎を)盗人と言ったとしても、とても信じられません!!」

ここから、よつばさんの怒涛の追跡が始まります。

さまざまな本を取り寄せて読み比べ（読んだ本は最終的に200冊ほどになったそうです）、次々に湧き出る疑問を学校司書・図書館司書・博物館の学芸員などさまざまな人達の協力を得ながら、自分なりに表や年表などにまとめて考察をすすめていきます。

最後に、よつばさんは「泣いた赤鬼」の作者、浜田広介の書いた「ももたろうの足あと」に辿り着き、「鬼は何者なのか？」という命題の考察結果を提示しています。

巻末には、参考にした本や調べるために訪れた場所（桃太郎神社でのおみくじは「大吉」だったそう!）、オリジナル作品の一覧が掲載されています。

当館では、毎年、夏休み期間に前述のコンクールの過去分の受賞作品をロビーに展示しています。いずれもクオリティーの高い作品で、貸出はできませんが、一度、手に取ってみたいはいかがでしょうか？

最後に、この作品を司書の視点から読むと「草の根わけても探し出す」という専門職としての矜持を垣間見ることができました。私も、がんばり・・・たいと思います。



郷土資料紹介

「知里幸恵とアイヌ」

—豊かなアイヌ文化を初めて文字で表現した天才少女—

(小学館版学習まんが人物館 日本-22)

ひのき 真二／まんが・三条 和都／ストーリー 小学館／発行



近年の学習まんがは、子供ばかりではなく大人でも十分、読み応えがあります。この小学館のまんが人物館は、児童書ではあまり書籍化されていない人物や最近、話題になった人物なども取り上げています。

そして、一作年には「知里幸恵」が書籍化されました。

監修には、「知里幸恵 銀のしずく記念館」前副館長の浅野清さんが携わっていますので、内容的にも折り紙つきと言えます。

知里幸恵の名前は知っているけれど、難しい本は・・・という人にも、まんがなら手に取りやすいのではないのでしょうか？

新着図書案内 令和2年1月 No.1

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
0 総記		死ぬまでに行きたい！世界の絶景 ガイド編	詩歩
平成出版データブック 『出版年鑑』から読む30年史	能勢 仁	偉人たちの辞世の句	若林 良
イノベーターズ 1・2 天才、ハッカー、ギークがおりなすデジタル革命史	ウォルター・ アイザックソン	異端の被爆者 22度のがんを生き抜く男	横井 秀信
学校司書研修ガイドブック	学校図書館 まなびの会	クルーズ旅行術ガイドブックに載らない 達人のコツ50	小磯 紀子
図書館・まち育て・デモクラシー 瀬戸内市民図書館で考えたこと	嶋田 学	驚きの日本一が「ふるさと」にあった 地元、都道府県の魅力を再確認	山田 稔
できるパソコンのお引っ越しWindows7から Windows10に乗り換えるために読む本 令和改訂版	清水 理史	「生類憐みの令」の真実	仁科 邦男
1 哲学・宗教		江戸の終活 遺言からみる庶民の日本史	夏目 琢史
●私、失敗ばかりなので へこたれない仕事術	内山 聖子	●光に向かって這っていけ 核なき世界を追い求めて	サーロー節子・ 金崎 由美
日本人は本当に無宗教なのか	礪川 全次	3 政治・経済・社会・教育	
大人のための道徳教科書	齋藤 孝	コラプション なぜ汚職は起こるのか	レイ・フィスマン／ミリアム・A.ゴールドデン
心がワクワクして元気が出る！37の 旅の物語	西沢 泰生	新・男子校という選択	おおた としまさ
ヒトの発達の謎を解く	明和 政子	新・女子校という選択	
自己肯定感が低い自分と上手につきあう 処方箋	大嶋 信頼	世界の少数民族	イアゴ・コラツツァ ／グレッタ・ローパ
心やすまる絶景ポエム	Good Night Books	副業のはじめ方がわかる本	成美堂出版編集部
ウニヒピリのおしゃべり	吉本 ばなな・ 平良 アイリーン	介護の現場と業界のしくみ	高山 善文
2 歴史・地理		北方領土はなぜ還ってこないのか	名越 健郎
横路孝弘 民主リベラルの旗の下で	横路 孝弘	●なぜ元公務員はいっぺんににおにぎり35個を 万引きしたのか ビジネスマン裁判傍聴記	北尾 トロ
令和誕生 退位・改元の黒衣たち	読売新聞政治部	Q&Aでわかる子どものネット依存と ゲーム障害	樋口 進
図説ヨーロッパの紋章	浜本 隆志	スマホを置いて、ぼくをハグして！	司馬 理英子
皇居の歩き方	竹内 正浩	二重国籍と日本	国籍問題研究会
父渋沢栄一 新版	渋沢 秀雄	先に亡くなる親と良い関係を築くためのアド ラー心理学	岸見 一郎
大御所徳川家康	三鬼 清一郎	ダイエット幻想	磯野 真穂
松本十郎の漁場改革と新ひだか町 静内の歴史	及川 邦廣	大江戸の飯と酒と女	安藤 優一郎
日本夜景遺産 15周年記念版	丸々 もとお・ 丸田 あつし	自衛隊防災BOOK 2	マガジンハウス 編集
皇室ファイル 菊のべールの向こう側	共同通信社会部	離婚すると決めたら読む本	ベリーベスト法律 事務所
●地質学者ナウマン伝 フォッサマグナに挑んだお雇い外国人	矢島 道子	思考法図鑑	アンド
100年前から見た21世紀の日本	大倉 幸宏	みんなにお金を配ったら	アニー・ローリー
●47都道府県の歴史と地理がわかる事典	伊藤 賀一	親のお金守ります	小早川 浩
静岡'20 浜名湖・富士山麓・伊豆	昭文社	最新入管法・外国人雇用の法律しくみと手続き	服部 真和・ 小島 彰監修
女ひとり旅、世界のめしを食べつくす！	三好 智子	「絆」を築くケア技法ユマニチュード	大島 寿美子
るるぶ愛媛'20 道後温泉松山しまなみ海道	JTBパブリッシング	女性のいない民主主義	前田 健太郎
ハプスブルク家「美の遺産」	世界文化社	善意という暴力	堀内 進之介
定点写真でめぐる東京と日本の町並み	二村 高史	●図説ヨーロッパから見た狼の文化史	ミシェル・ パストウロー

新 着 図 書 案 内 令和2年1月 No.2

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
昭和政争 1 閣将軍・角栄最後の1000日	中村 慶一郎	カラー図解人体誕生 からだはこうして造られる	山科 正平
ルポシニア婚活	篠藤 ゆり	ウォーキングの科学 10歳若返る、本当に効果的な歩き方	能勢 博
社会保障再考〈地域〉で支える	菊池 馨実	「ファインマン物理学」を読む 普及版	竹内 薫
● ルポ トランプ王国 2 ラストベルト再訪	金成 隆一	● キタリス 生態写真集	竹田津 実
行動経済学の使い方	大竹 文雄	数の概念	高木 貞治
国運の分岐点 中小企業改革で再び 輝くか、中国の属国になるか	デービッド・ アトキンソン	● グレタたったひとりのストライキ	マレーナ・ エルンマンほか
親が知らない子どものスマホ	鈴木 朋子	紅茶セラピー 世界で愛される自然の万能薬	斉藤 由美
● 本当の貧困の話しよう	石井 光太	5 技術・工業・家事	
● つげびの村 噂が5人を殺したのか？	高橋 ユキ	● 弾丸メン	堂場 瞬一
人口減少社会のデザイン	広井 良典	お客に言えない食べ物 <small>の裏話</small> 大全	情報取材班編
日本の地方議会 都市のジレンマ、消滅危機の町村	辻 陽	● 探検家とペネロペちゃん	角幡 唯介
図解でハッキリわかる労働時間、 休日・休暇の実務 最新版	佐藤 広一	肉・魚・加工食品保存のアイデア帖	島本 美由紀
この国のたたみ方	佐々木 信夫	似合うが見つかるヘアアレンジの法則	佐々木 拓巳
4 自然科学・医学		クロスステッチで楽しむレトロ模様	遠藤 佐絵子
歯と歯ぐきを強くする噛みトレ	新谷 悟	おかずがいらないごっついスープ	きじま りゅうた
ヒトは120歳まで生きられるのか	田原 総一郎	うつわ 楽しむ工夫×注目作家55人×基礎知識	暮らしの図鑑 編集部
統計分布を知れば世界が分かる	松下 貢	世界を変える100の技術	日経BP
● 惨事ストレスとは何か 救援者の心を守るために	松井 豊	トコトンやさしい建築材料の本	大垣 賀津雄・ 大塚 秀三
黄金比 秘められた数の不思議	ゲイリー・ B. マイスナー	なんて楽しい節約生活	森川 弘子
寝ながらできる認知症予防 1	山崎 律子・ 上野 幸	エネルギーの愉快な発明史	セドリック・カルル ほか監修
胃を切った人のための毎日おいしい レシピ250	木下 敬弘・ 千歳 はるか監修	手抜きでもピカピカ！maiママ式時短そうじ の最強レシピ	mai
大腸を切った人のための毎日おいしい レシピ200	塩澤 学・ 藤井 理恵薫監修	Twitter完全マニュアル	八木 重和
なぜ科学を学ぶのか	池内 了	いっぺんに作る赤ちゃんと大人のごはん	中田 馨
● いのちは輝く わが子の障害を受け入れるとき	松永 正訓	からだが温まるとろみのレシピ	吉澤 まゆ
摂食障害の子どもたち	高宮 静男	有元葉子この2皿さえあれば。	有元 葉子
血管が若返るクスリになる健康鍋	島田 和幸監修	もっともっと知りたい無印良品の収納	本多 さおり
● クモのイト	中田 兼介	毎日食いたい！お粥ごはん	エダジュン
子どもをじょうぶにする食事は、時間も お金も手間もかからない	幕内 秀夫	おうちすし	野本 やすゆき
親ががんになったら読む本	山口 建	バターは調味料。ほんの少し使うだけで おいしくなる	上田 淳子
60代から頭がよくなる本	高島 徹治	小関鈴子のモードなバッグ	小関 鈴子
その道のプロに聞く生きもののワオ！	松橋 利光	コウノトリが二羽飛んできた がんばれパパ！！ふたご育児奮闘記	ミハイロ
子どもの目を良くする親、悪くする親	平松 類・ 蒲山 順吉	電源防衛戦争 電力をめぐる戦後史	田中 聡
超かんたんヨガで若返りが止まらない！	高尾 美穂	365日マネするだけ離乳食	手作り離乳食 by ninaruレシピ監修

新着図書案内 令和2年1月 No.3

●印は今評判の本です。(電話やメール・ホームページでも予約を受け付けています)

書名	著者	書名	著者
5 技術・工業・家事		自画像のゆくえ	森村 泰昌
卒業式・卒園式のかわいい袴スタイル	辰巳出版	スターは楽し 映画で会いたい80人	芝山 幹郎
自由の森学園の学食レシピ 日本一の「ふつうの家ごはん」	自由の森学園 食生活部	現代美術史 欧米、日本、トランスナショナル	山本 浩貴
ポリ袋でつくるたかこさんのマフィン・ スコーン・パン	稲田 多佳子	水墨で描くやさしいはがき絵	塩澤 玉聖
日本一おいしい煮もの	KADOKAWA	●ピカソの私生活 創作の秘密	オリヴィエ・ W.ピカソ
すきやばし次郎 小野禎一 父と私の60年	根津 孝子	野村重存と巡る水彩スケッチ旅	野村 重存
ニット地で作る大人服 改訂版	クライ・ムキ	JAPAN BLUE藍染ガイドブック	辻岡 ピギーほか
横山先生！老後までに2000万円って ほんとうに貯められますか？	横山 光昭	ふたりの桃源郷	佐々木 聰
●海洋プラスチック汚染	中嶋 亮太	ゴッホとゴーギャン 近代絵画の軌跡	木村 泰司
おしゃれは7、8割でいい	地曳 いく子	すぐわかる正倉院の美術 改訂版	米田 雄介
掃除のプロが教えるメラミンスポンジスゴ 落ちの裏ワザ	大津 たまみ	怪獣生物学入門	倉谷 滋
昭和モダン建築巡礼 1945-64 完全版	磯 達雄	高橋晃大のオセロ必勝手筋100	高橋 晃大
斜めがけバッグとリュック	日本ヴォーグ社	世界一かわいいエゾモモンガ	進 啓士郎写真
産業革命歴史図鑑 100の発明と技術革新	サイモン・ フォーティ	クラシック名曲全史	松田 亜有子
6 産業・商業		小野月世の水彩画風景レッスン	小野 月世
吾輩はねこである 名前はベーコン	岩合 光昭	●我が相撲道に一片の悔いなし 稀勢の里自伝	荒磯 寛
あなたのメールは、なぜ相手を怒らせるのか？	中川路 亜紀	'80s少女漫画ふろくコレクション	ゆかしなもん
日本を救う未来の農業 イスラエルに学ぶICT農法	竹下 正哲	もっと夢中になる！トランプの本	草場 純
農業新時代	川内 イオ	マボロシの茶道具図鑑	依田 徹
図解知識ゼロからのコメ入門 最新版	八木 宏典監修	60歳からはじめる自転車ライフ	辰巳出版
5人目の旅人たち「水曜どうでしょう」と藩 士コミュニティの研究	広田 すみれ	いちばんわかりやすいテーピング	花岡 美智子監修
おいしいチーズの事典	久田 早苗監修	ストライカーを科学する サッカーは南米に学べ！	松原 良香
日本懐かし航空大全	谷川 一巳	いちからわかる円山応挙	岡田 秀之
猫にいいものわるいもの 新装版	臼杵 新監修	●キャパとゲルダ ふたりの戦場カメラマン	マーク・アロンソン ／マリナ・ブドーズ
犬にいいものわるいもの 新装版		●バンクシー 壊れかけた世界に愛を	吉荒 夕記
北海道の鉄路 昭和30～40年代	星 良助	玉三郎 勘三郎 海老蔵 平成歌舞伎三十年史	中川 右介
犬とお出かけ完全ガイド	樫出版社	12か月のおりがみ壁飾り	いまい みさ
トウガラシ大全	スチュアート・ ウォルトン	イノセントマン ドリー・ジョエル100時間インタビューズ	フレッド・ シュルアーズ
オーガニック植木屋の剪定術	ひきちガーデン サービス	8 言語	
7 芸術・スポーツ		英文法のトリセツ とことん攻略編 新装版	阿川 イチロフ
Stage For～舌がん「ステージ4」から 希望のステージへ	堀 ちえみ	英文法のトリセツ 中学レベル完結編 新装版	
栗山ノート	栗山 英樹	ますます心とカラダを整えるおとなのための 1分音読	山口 諤司
僕の人生には事件が起きない	岩井 勇氣	「言いたいこと」から引ける敬語辞典	西谷 裕子

新 着 図 書 案 内 令和2年1月 No.4

広報のほりべつでも新着図書の紹介をしています。

書 名	著 者	書 名	著 者
913 日本の小説		不審者	伊岡 瞬
背中蜘蛛	菅田 哲也	● 頂上捜査	安東 能明
● ツナグ 想い人の心得	辻村 深月	Iの悲劇	米澤 穂信
● 生命式	村田 沙耶香	読書実録	保坂 和志
どうしても生きてる	朝井 リョウ	鉄の楽園	榆 周平
ライオンのおやつ	小川 糸	緋色のマドンナ 陶芸家・神山清子物語	那須田 淳
● まよい道(新・吉原裏同心抄1)	佐伯 泰英	ごめん。	加藤 元
彼女たちの犯罪	横関 大	二人のカリスマ 上・下 スーパーマーケット編	江上 剛
黒白の起点 飛騨高山殺意の交差	梓 林太郎	明日の僕に風が吹く	乾 ルカ
飛べないカラス	木内 一裕	● オーガ(ニ)ズム	阿部 和重
● 人間	又吉 直樹	やってみなきゃあ(よろず相談屋繁盛記4)	野口 卓
奔る男 小説金栗四三	堂場 瞬一	廃墟の白墨	遠田 潤子
● 巡礼の家	天童 荒太	神とさざなみの密室	市川 憂人
きみの正義は 社労士のヒナコ	水生 大海	9 その他の文学	
夏服を着た恋人たち (マイ・ディア・ポリスマン 3)	小路 幸也	愛のまなざし 三浦綾子の舞台を旅する	石井 一弘
小箱	小川 洋子	タイトル読本	高橋 輝次
ナポレオン 3 転落篇	佐藤 賢一	迷いながら生きていく	五木 寛之
● 祝祭と予感	恩田 陸	BOOKMARK 翻訳者による海外文学 ブックガイド	金原 瑞人・ 三辺 律子
人を乞う	あさの あつこ	● 大人の流儀 9 ひとりで生きる	伊集院 静
私の家	青山 七恵	いやいやながらルパンを生み出した作家 モーリス・ルブラン伝	ジャック・ ドゥルワール
記憶の盆をどり	町田 康	旅の作法、人生の極意	山本 一力
犬	赤松 利市	最後の一文 名作の終わり方の謎を解く	半沢 幹一
愚か者の身分	西尾 潤	この名作がわからない	小谷野 敦・ 小池 昌代
ブラックシープ・キーパー	柿本 みづほ	ケミストリー	ウェイク・ワン
島津三国志	井川 香四郎	シンコ・エスキナス街の罟	マリオ・ バルガス=リョサ
● 私はスカーレット 1	林 真理子	ガール・コード プログラミングで世界を 変えた女子高生二人のほんとうのお話	ソフィー・ハウザー/ アンドレア・ゴンザレス
まほり	高田 大介	97歳の悩み相談	瀬戸内 寂聴
● 逃亡小説集	吉田 修一	本と幸せ	北村 薫
極上の罟をあなたに	深木 章子	● 「作家」と「魔女」の集まっちゃった思い出	角野 栄子
名残の花	澤田 瞳子	納豆が好き フランス人、ジュリの東京生活	ジュリ・ブランシャン ・フジタ
雨とカラス	澤西 祐典	揺れる心の真ん中で	夏生 さえり
● 菊花の仇討ち	梶 よう子	● 世界のはての少年	ジェラルディン・ マコックラン
天保十四年のキャリーオーバー	五十嵐 貴久	シルバー川柳 特別編4 ババア川柳 人生いろいろ編	みやぎシルバー ネット

館内の本の移動について（お願い）

本の所在確認や紛失を防ぐため、本を持ってフロアを移動する際には必ず当該フロアのカウンターにて先に本を借りていただけますようお願いいたします。（例：本館1階の児童書・ロビーの本を2階に持っていき、2階一般書を3階閲覧席で利用する際など）

また貸出の手続きをせずにフロアの移動をされていた場合、気づいた職員より貸出の手続きをお声掛けする場合があります。ご了承ください。

よりよい図書館運営のため、皆様のご協力よろしくをお願いいたします。

登別市立図書館

図書館カレンダー 令和2年(2020年) 1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
← 年末年始・システム更新休館 (本館・アーニス分館・各配本所) → ※1月6日まで配本所を含む全館が休館です						
5	6	7	8	9	10	11
年始・システム更新休館 (全館休館)				分館休館 ブックスタート		えほんのへやの おはなし会
12	13	14	15	16	17	18
	成人の日 本館休館	祝日振替 本館休館		分館休館		油絵講座
19	20	21	22	23	24	25
	本館休館			分館休館		おはなしほけっと
26	27	28	29	30	31	2/1
	本館休館		ライブラリー スタート おはなし会	分館休館	図書整理日 本館休館 分館休館	映画会

図書館施設案内

	本館 こぐま号	アーニス分館	鷺別配本所	登別配本所	温泉配本所
住所	中央町5-21-1	中央町4-11	鷺別町3-3-4	登別東町3-6-7	登別温泉町58-1
電話	85-4324	81-2182	86-8823	83-1131	84-2068
休館日	月曜日・祝日・年末年始 本館：最終金曜日 こぐま号：日曜日	木曜日 最終金曜・年末年始	年末年始のみ		なし
開館時間	10:00～18:00 (木曜のみ19:30)	10:00～20:00	9:00～18:00 (昼休みあり)	9:00～17:30 土日祝 17:00	9:00～15:00